



やまがた 被害者支援センター だより

YAMAGATA Victim Support Center

～より良い被害者支援を目指して～

山形県警察本部長 水庭 誠一郎



やまがた被害者支援センターが平成16年に創立されて、今年で21年目を迎えます。この間、運営に携わってこられた皆様の並々な御努力に敬意を表しますとともに、日頃から県警察に対して、御支援・御協力を頂いておりますことに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

県警察では、県民が犯罪被害に遭わないことを最優先に犯罪を予防するための取組の強化を重点項目に掲げて積極的に取り組んでいるところでありますが、一方で、不幸にも犯罪被害に遭われた方々を支援することについても県民の期待はますます大きくなっていると感じます。

本県では、平成22年3月に「山形県犯罪被害者等支援条例」が施行され、三次にわたり「山形県犯罪被害者等支援推進計画」を策定し、県、市町村及び県民等が連携・協力して各種施策を総合的かつ計画的に推進するなど、犯罪被害者等の権利・利益の保護に努めてまいりました。この間、全市町村に犯罪被害の相談窓口設置、犯罪被害に遭われた方に対する医療費や緊急の宿泊施設借り上げ経費といった公費支出範囲の拡大、やまがた性暴力被害者サポートセンター（べにサポやまがた）事業の開始、性犯罪・性暴力に係る相談の24時間・365日の受付、オンコール体制の整備等、様々な取組が図られてきたところです。

本年3月には「第四次山形県犯罪被害者等支援推進計画」を策定し、重点項目の一つとして、市町村における被害者支援に特化した条例の制定に向けた支援を掲げて取り組んでいます。本県における犯罪被害者等支援条例の制定状況については、「やまがた被害者支援センター」の働きかけにより、令和3年に南陽市で制定されたことを皮切りに、これまでにほとんどの市町村において、条例（見舞金制度あり）が制定されております。

犯罪被害者等が一日も早く被害から回復し、社会の中で再び平穏な生活を営むことができるようにするためには、犯罪被害者等一人一人に寄り添ったきめ細かな支援が必要であり、県、市町村、民間支援団体、事業者、県民が相互に連携・協力し、取組の一層の強化を図っていかねばなりません。

県警察としては、犯罪被害に遭われた方や御家族の具体的なニーズを的確に把握し、よりきめ細かな支援を行うために、貴センターと緊密に連携して活動してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

結びに貴センターのますますの御発展と会員皆様の御活躍並びに御健勝を祈念いたします。

電話相談 秘密は厳守いたしますので、一人で悩まずお電話ください。

〈やまがた被害者支援センター〉

相談電話番号 **023-642-7830**

月曜日～金曜日（10:00～16:00）

〈庄内出張相談所〉

相談電話番号 **0234-43-0783**

毎週水曜日（10:00～16:00）

■相談は無料です。（通話料はかかります）

やまがた性暴力被害者サポートセンター「べにサポやまがた」

023-665-0500 月曜日～金曜日（10:00～19:00）

※上記以外の時間は、国の夜間休日対応コールセンターにつながり、24時間365日、相談を受け付けます。

〈性暴力被害相談〉全国共通短縮ダイヤル

はやくワン（ストップ支援センターへ）

短縮ダイヤル **#8891**

メール相談 やまがた被害者支援センター及びやまがた性暴力被害者サポートセンターのホームページ内のメールフォームよりご相談いただけます。

令和7年度定時総会・講演会開催

公益社団法人やまがた被害者支援センター(理事長・寒河江浩二)の定時総会と講演会が6月12日、山形市の山形国際交流プラザで開かれました。

総会に先立ち、理事として長きにわたり当センターの運営に尽力された理事1名と、長きわたり支援活動員として活動された2名の犯罪被害相談員に寒河江理事長から「賞状」が授与され、その功労が顕彰されました。

総会では、寒河江理事長が「犯罪被害者支援をめぐる全国的動向として、犯罪被害者等支援におけるワンストップサービスを実現するため、各都道府県を中核とした、犯罪被害者等支援コーディネーターの設置等が求められており、当県においてもその準備が進められている。また、昨

年度当センターに寄せられた相談件数は555件で前年比大幅に増加しているほか、中でも性犯罪・性暴力つまり『べにサポやまがた』に関する相談は約86パーセントを占め、過去最多を記録し、内容的にも難しい継続案件が多く、当センターが果たす役割は益々大きくなる。更に、地域社会全体で被害者等を支えるため、県警等と連携して取組んでいる、犯罪被害者等支援に特化した市町村条例の制定は、今年4月現在32市町村で制定されるなど残り3町となったが、1日も早い全市町村での制定を目指す。本日の講演会では、過去最多を記録したべにサポ関係相談と深く関連する、子ども達を性暴力などの当事者にしない『生命の安全教育』について、担当している片山枝美コーディネーターから講演してもらいますが、今後の支援活動に役立てていただきたい。」等と挨拶しました。

続いて来賓の

山形県知事(代理 防災くらし安心部次長兼危機管理広報監 岩瀬一氏)

山形県警察本部長(代理 警務部長 田島透氏)

からご挨拶をいただきました。



〈表彰〉



〈理事長あいさつ〉



〈知事あいさつ(代理 岩瀬次長)〉



〈警察本部長あいさつ(代理 田島警務部長)〉

議事では、昨年度の事業として、当センターの重点推進事項である、被害者支援に特化した条例制定に向けた市町村への働きかけを積極的に行った結果、10市町村で条例が制定され、全部で32市町村になったことのほか、自ら支援条例の制定に関わり、犯罪被害者遺族でもある、前東京都中野区区議会議員の近藤さえ子様にも基調講演をお願いした「犯罪被害者支援県民のつどい2024」の開催などを報告しました。

続いて、昨年度の収支計算が原案どおり可決・承認されました。

次に、本年度の活動重点として

(1)被害者支援の最前線としての相談・支援活動の充実強化

を確認しました。

また、公益法人法の改正に伴い、外部監事を設ける必要性などから定款の改正が行われました。

任期満了に伴う役員改選では、太田宏明・齋藤博両理事が退任し、後任の理事には大泉定幸氏と青木義洋氏がそれぞれ選任されたほか、他の理事は再任となりました。

講演会

総会の後、現在当センターとして推進している、「生命(いのち)の安全教育」に関し、片山枝美コーディネーターから、「～子どもたちの“心の防災”のために大人が出来ること～」と題してご講演をいただきました。今後の被害者支援活動に参考となる講演でした。

(講演内容)

今日は、「生命(いのち)の安全教育」について「心の防災」という視点で捉え、子どもたちが自分と他者の心と身体を大切にできる力を育てるために、私たち大人にできることを共に考えるきっかけになればと思っております。

最初に紹介するのは、山形県とべにサポやまがたが作成した「学校における児童生徒間の性暴力対応支援ハンドブック」です。今年5月に県内すべての学校に配布され、性暴力の定義や学校現場での初期対応について具体的に示されています。スカートをめくる、ズボンを下ろすといった行為も性暴力であり、「ふざけ」では済まされないと記載されています。適切な対応がとられなければ、被害に遭った子どもは長期にわたって傷を抱え、回復が妨げられます。だからこそ、学校は子どもにとって安心・安全な場所でなければなりません。それには、「性教育」と「適切な対応」が両輪になります。

そのために必要なのが「性教育」、特に包括的性教育です。これは単に知識を教えるだけでなく、子どもたちが自分と相手大切に生きる方を学ぶ人権教育であり、防災教育でもあります。現代はSNSやネットを通して膨大な情報に触れる時代ですが、子どもたちにはその真偽を見極める力が十分に備っていません。正しい知識があれば、防げる被害もあります。だからこそ、すべての子どもに質の高い性教育を届ける必要があるのです。

私はこの「生命(いのち)の安全教育」を「心の防災」と表現しています。地震や火事への備えと同じように、心が傷つく“災害”つまり性暴力に遭ったとき、自分の身を守る力が必要です。例えば「イヤだ」と感じたときに、その感情に気づいて言葉にできる力、そして信頼できる大人に相談できる力を育むこと。それが、心を守る防災につながるのです。

そのために、私たち大人ができること。それは「話してもいい」と思われる存在になることです。子どもの「イヤ」をわがままと決めつけず、まず「そうなんだね」と受け止める。そこから対話が始まります。「今はこうしてほしい」と伝える中で、子どもと一緒に考え、気持ちを言葉にする力を育てる。それはやがて、他者と違いを尊重しながら関係を築く力になります。子ども時代にこの対話を重ねておくことが、人生を支える力になるのです。



〈講師〉



〈講演風景〉

性暴力の被害を防ぎ、もし起きたときにも安心して支援が受けられる社会にするために、まず私たち大人が変わること。その一歩が、子どもたちの「心の防災」につながります。

今日私が一番伝えたかったのは、特別なことではなく、子どもが話してもいいと思える大人であってほしいということです。それが子どもたちにとって、被害者にとってどれだけ安心につながるか、自分は一人じゃないと思えることが大切です。

今日はお聴きいただき本当にありがとうございました。

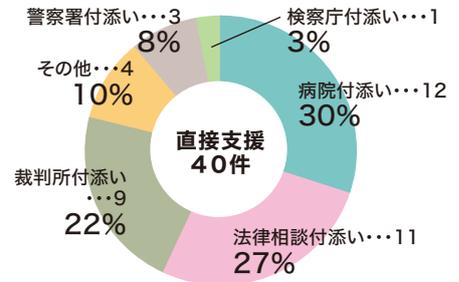
令和6年度における相談受理および直接支援の活動状況

令和6年度の当センターにおける相談受理件数は555件で前年度に比べ119件増加しております。その中で、べにサポ(性犯罪等)に関する相談は479件と大幅に増加しており、過去最多となったほか、性犯罪に関する相談も315件で過去最多となりました。(注:「べにサポ」は、「やまがた性暴力被害者サポートセンター」の別称で、性暴力・性犯罪の相談に対応しております。)

▶▶ 過去10年間のやまがた被害者支援センター相談受理件数の推移

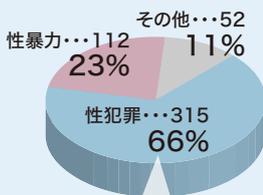


▶▶ 令和6年度 直接支援状況



令和6年度 やまがた性暴力被害者サポートセンター「べにサポやまがた」の相談受理状況

性犯罪・性暴力形態別



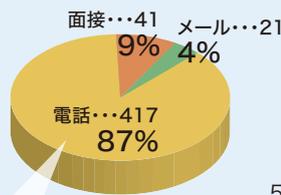
性犯罪相談における相談内容



男女別



相談手段別

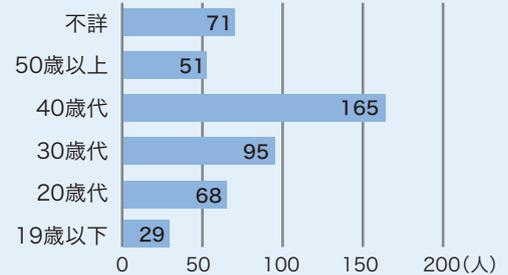


昼・夜別電話相談受理件数



※令和6年4月1日～令和7年3月31日に受理した「479件」の相談内容

相談者の年代別



令和6年度決算報告

令和6年度活動決算

収入の部

科目	決算額(円)	摘要
会費	2,660,000	正会員、賛助会員会費
寄付金	6,860,380	各種寄付
委託料	7,238,550	県べにサポ委託料
補助金	4,068,836	県補助金、市町村負担金等
助成金	2,006,000	日本財団助成等
雑収入	3,503	受取利息
合計	22,837,269	

寄付金内訳

科目	決算額(円)
警察職員寄付金	2,450,769
ワンクリック募金	396,000
協力自販機寄付金	2,838,138
赤い羽根共同募金	300,000
一般寄付・募金箱	875,473
合計	6,860,380

支出の部

科目	決算額(円)
相談活動事業費	2,342,894
直接支援事業費	423,430
広報啓発活動事業費	2,673,779
相談員養成・育成事業費	702,245
調査研究事業費	785,136
県・委託事業費	7,532,924
日本財団助成事業費	1,984,804
管理費・事務費	7,012,559
合計	23,457,771

やまがた被害者支援センター活動報告



支援活動員だより

やまがた被害者支援センターで電話や面接での相談および直接的支援に当たっている支援活動員の方々の思いや活動を紹介します。

「支援活動員になって」

やまがた被害者支援センターの支援活動員になって、数年が経過した平成28年4月25日、やまがた性暴力被害者サポートセンター（通称ベにサポやまがた）が併設されました。

私も、ベにサポやまがたの支援活動員となり8年がたちます。

後日、やまがた被害者支援センター設立、また、ベにサポやまがたの設立にあたり、関係者方々は、相当なご苦勞をなされたと聞きました。ベにサポやまがたは、性暴力被害者やその関係者の方々の抱える悩みに寄り添い、要望に応じて支援を行っており、私の微々たる活動は電話での相談対応です。

今日も16時から19時まで支援活動員として電話の前にはいます。

着信音が鳴ると肩も胸も脳にも緊張が走ります。何年たっても「はい。ベにサポやまがたです。」とスムーズに言えずにいます。

相田みつを氏の一生感動・一生青春という著書の中に『電話の声で人間がわかる。』とあります。人間の声にもその人の人柄がよく出るものです。私の家には毎日たくさんの人から電話がかかってくる。顔は見えませんが声をきいただけで、その人の育ちや品性までよくわかります。電話で声を聞いただけで、ほのぼのと心があたたまるともな人もあります。反対に声を聞いただけで1日中後味の悪いような人もあります。

相談者は、電話の向こうでどんな気持ちで、相談しているのだろうと想像しながら話を聞き、言葉では表現できない目に見えないものを察知しようとする私の緊張、それ以上に相談者が緊張しているにちがいないと思い、配慮しながら電話相談に応じています。

話は変わりますが、支援活動員1年目の時に、裁判所で裁判を傍聴する機会がありました。加害者男性が、早朝に被害者のアパートに侵入し、寝ている被害者の体を触ったという性犯罪事件でした。どんなに被害者は怖く恐ろしかったことでしょうか。そして、被害者の事件発生後のメンタル面を思うと、いたたまれなくなる事件でした。性犯罪、性暴力は被害者の尊厳を踏みにじり、被害者は身体的精神的にも大きなダメージを受けているにもかかわらず賠償金40万円という判決でした。

ダメージを胸の奥にしまい込み生きていくかもしれない被害者の事を思うと、お金では済まされない消えない傷。性犯罪に憤りを感じました。

今後は、被害者に多様な支援が増え、より良い方向に変わっていくであろう「やまがた被害者支援センター」「ベにサポやまがた」。

私も、支援活動員として支援の一端を担えれば幸いです。

質の高い支援を目指したスキルアップ活動等

全体研修会

当センターの重点推進事項の1つである「相談・支援活動の充実強化」を図るため、本年3月7日、公益財団法人山形県生涯学習文化財団山形県男女共同参画センターチェリア館長の伊藤真知子氏を講師に招き、オンラインを併用したハイブリッド方式により全体研修を開催しました。「ジェンダーをめぐる現状と課題」と題してご講義いただきましたが、参加者からは、今後の相談業務に参考となった等という意見が多く寄せられ有意義な研修となりました。



〈全体研修会〉

生命（いのち）の 安全教育

当センターにおいて令和5年度から推進している、子ども達を性暴力等の当事者にさせないための「生命の安全教育」を7月5日、庄内PTA連合会の保護者（約50名）を対象に実施しました。生命の安全教育は、児童・生徒だけでなく、保護者や教職員向けにも実施しております。



〈生命の安全教育〉

センターの活動を支えてくださる皆様に心から感謝申し上げます。

寄付金および賛助会費として、財政支援をいただいた方を、謹んでご報告申し上げます。(令和6年4月1日から令和7年7月31日)

ご協力いただいた賛助会費・寄付金は、犯罪や事故に遭われた被害者等を支援する諸活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



【賛助会員 個人】 (敬称略)

會田庸二郎	伊藤 知雄	片桐 俊幸	小林 裕	佐藤 光子	高橋誠一郎	花見 彰	八重樫勝昭
青木 繁	井上 敬三	片桐 政隆	小山 政弘	佐藤 泰夫	高橋 富蔵	早坂 松一	矢作 勝美
青柳 初夫	今川 昌幸	加藤 鉄男	今田 純子	佐藤 洋子	武田 朋泰	早坂 寛子	山川 孝
青柳 りゑ	漆山 茂	加藤 玲子	近藤 寛治	佐藤 良江	長南 明重	原田 暑子	山口登喜雄
青山 永策	遠藤 和彦	金澤 和子	近藤 好司	信夫 鈴子	土屋 講	原田イクミ	山口 敏彦
阿彦 忠之	遠藤 光正	金杉 浩	今野キヨ子	柴田美恵子	寺崎 智代	原田 伸也	山田 登
阿部 和行	遠藤 吉寛	菅野 雅博	齋藤 久志	島貫 利春	徳宮 龍男	深瀬 邦彦	山村 祐悟
阿部 憲史	及川 善大	菊地 武夫	三枝 和也	白田 一志	富田 俊実	堀田 いく	横尾 昭男
阿部ひとみ	大川 隆雄	菊池 紀久	酒井 博	須貝 光雄	長岡 敏明	堀江マサ子	横尾智三郎
阿部 正希	大久保義雄	岸井 宏樹	寒河江幸次	菅野 健吉	中島 勲司	本田香奈子	横尾 量助
五十嵐敏子	太田 純子	木村 豊生	寒河江孝男	菅原 和夫	中島 信勝	本田 良一	横山 礼子
五十嵐幸弘	太田雄美子	草苅 隆志	笹原 清彦	菅原 浩昭	長瀬 恒夫	本間 等	若松 正俊
石栗 義秋	大宮 光也	楠 二男	佐藤 金悦	鈴木 進	成沢 一彦	松尾あさ子	渡辺 徳夫
石山 行雄	大森 典夫	工藤 英雄	佐藤 景三	鈴木 文雄	新野ふみ子	松尾 正城	渡部 幸雄
伊豆倉公子	小川 るみ	黒沼 範子	佐藤 攻	鈴木 政明	仁藤ミエ子	眞見 静子	
井田 守男	奥山歌代子	桑山 幸子	佐藤 重勝	相馬 諭	野口 清治	三浦 繁則	
板垣 恵子	小座間一夫	小関 和栄	佐藤 誠	平 ふみゑ	信田 信一	峯田 典明	
板垣 隆	小野寺 久	後藤 稔	佐藤 大	平 よね子	羽角 巖	村越 友子	
板垣 幸江	加賀山隆士	小林 邦憲	佐藤美智雄	高木 信博	長谷川啓子	森谷 裕一	

【寄付 個人】 (敬称略)

伊藤留理子	太田 眞一	小山 政弘	高橋 清二	萩原さち子	堀川 隆志
植村 久美	金杉 浩	寒河江浩二	高山 則義	林 淑子	吉田 敏雄
遠藤 涼一	黒澤 洋介	佐藤 健二	中野 里栄	原田 伸也	

【寄付 法人・団体】 (敬称略)

警察学校第 37 期同期生会	松 波 会	税理士法人黒沼共同会計事務所	天童地区被害者支援連絡会
山形地区安全運転管理者協議会	上山地区警察官友の会	村山・東根地区被害者支援ネットワーク	天童地区保護司会
女声合唱団「ふうが」	上山地区被害者支援連絡協議会	長井地区被害者支援連絡会	南陽地区被害者支援連絡会
庄内町被害者支援連絡協議会	新庄・最上地区被害者支援連絡会	天童市更生保護女性会	尾花沢地区安全運転管理者協議会

【センター募金箱 設置箇所】

県内全警察署	舟形町総務課	庄内町健康福祉課	道の駅むらやま
村山市市民環境課	真室川町総務課	庄内町立川総合支所	マツキドライブインスクール村山校
東根市生活環境課	大蔵村住民税務課	小国町町民課	医療法人徳洲会庄内余目病院
新庄市環境課	鮭川村住民税務課	米沢市教育委員会学校教育課	(有)ジーワン・レッカー
金山町総務課	戸沢村住民税務課	川西町住民課	(有)相田 仏光堂
最上町町民税務課	最上総合支庁総務課	置賜総合支庁地域保健福祉課	医療法人田中クリニック

【正会員 法人・団体】 (敬称略)

山形県商工会連合会	(株)トヨタレンタリース山形	(一社)山形県銀行協会
山形県商工会議所連合会	山形経済同友会	山形県警友会連合会
(一社)山形県経営者協会		

【賛助会員 法人・団体】 (敬称略)

【山形市】

(一社)山形県安全運転管理者協会
 あいおいニッセイ同和損保(株)山形支店
 A L S O K 山 形 (株)
 (一財)山形県警察職員互助会
 (一社)日本自動車販売協会連合会 山形県支部
 (一社)山形県医師会
 (一社)山形県警備業協会
 (一社)山形県歯科医師会
 (一社)山形県自家用自動車協会
 (一社)山形県自動車整備振興会
 遠藤商事(株)
 家具のHIROBA
 (株)YCC情報システム
 (株)アスク
 (株)クラフト
 (株)ジョインセレモニーパレスグランドール
 (株)セロン東北
 (株)大光産業
 (株)たいよう共済山形支店
 (株)田村測量設計事務所
 (株)千歳建設
 (株)ティスコ運輸
 (株)でん六
 (株)とみひろ
 (株)ハイテックシステム
 (株)ぶどうの木
 (株)本間利雄設計事務所
 (株)メコム
 (株)山形アドビューロ
 (株)山形新聞社
 (株)山形テレビ
 (株)山形ビルサービス
 (株)ヤマコー
 (株)山新広告社
 (株)ワイム
 (株)太陽警備保障
 小白川建設(株)
 小松建設(株)
 (医)公德会若宮病院
 (医)二本松会山形さくら町病院
 新和産業(株)
 住友生命保険相互会社 山形支社
 (税)黒沼共同会計事務所
 全国共済農業協同組合連合会 山形県本部
 全国農業協同組合連合会山形県本部
 損害保険ジャパン(株)

第一貨物(株)
 太平ビルサービス(株)山形支店
 東京海上日動火災保険(株)
 東北映音(株)
 東北電力(株)山形支店
 トヨタカーローラ山形(株)
 西河産業(株)
 日本地下水開発(株)
 東日本電信電話(株)山形支店
 東日本旅客鉄道(株)山形支店
 藤庄印刷(株)
 富士電子(株)
 弁護士法人武田法律事務所
 山形いすゞ自動車(株)
 山形ガス(株)
 山形警備保障(株)
 山形県軽自動車協会
 山形県生涯学習文化財団
 山形県農業協同組合中央会
 山形県ハイヤー協会
 山形県弁護士会
 山形県民共済生活協同組合
 山形県遊技業協同組合
 山形県立保健医療大学
 山形酸素(株)
 山形事務器販売(株)
 山形信用金庫
 山形大学医師会
 山形ダイハツ販売(株)
 山形農業協同組合
 山形パナソニック(株)
 山形放送(株)
 山形ワシントンホテル(株)
 ヤマケンビルテックサービス(株)
 山新オフセット(株)
 山新建築(株)
 山新販売(株)
 (有)サガワデンキ
【上山市】
 (一社)上山市医師会
 羽陽建設(株)
 (医)二本松会かみのやま病院
【天童市】
 (一財)山形県交通安全協会
 (一社)天童市東村山郡医師会
 (医)丹心会吉岡病院
 エムテックスマツムラ(株)

カクシメ運送(株)
 (公社)山形県トラック協会
 日新製薬(株)
 丸和熱処理(株)
 山形ゾンタクラブ
【寒河江市】
 曙ブレーキ山形製造(株)
 大富建設(株)
 (株)寒河江測量設計事務所
 (株)丸の内運送
 國井建設(株)
 角田商事(株)
 双葉重機リース(株)
【東根市】
 国際ソロプチミスト東根
【河北町】
 (医)つかさ会齊藤医院
 勝川建設(株)
 (株)トウショー
 升川建設(株)
【大江町】
 (有)藤島屋商店
【西川町】
 (有)玉貴
【村山市】
 (一社)北村山地区医師会
 小野内科胃腸科クリニック
 河西建設(株)
【尾花沢市】
 (有)徳宮商事
 (有)はながさバス
【新庄市】
 (一社)新庄市最上郡医師会
 (医)三條医院
 (株)新庄鈴木柴田組
 さいほく鉄工(株)
 (宗)善龍寺
 新庄ロータリークラブ
【最上町】
 (医)永井医院
【真室川町】
 (株)東北工材
【酒田市】
 (医)太田医院いちごレディースクリニック
 (株)鳥海学園
 環清工業(株)
 (株)上林鉄工所

酒田塗装(株)
 長島整形外科クリニック
 前田製管(株)
 山田塗装(株)
 (有)齋藤組
【庄内町】
 (株)大商金山牧場
 関東自動車興業(株)
【鶴岡市】
 (一社)鶴岡地区医師会
 (医)いとうクリニック
 (株)オランダ
 (株)長南牛肉店
 (株)佐藤組
 (株)マルゴ
 庄内環境衛生事業(株)
 庄内環境整備(株)
【長井市】
 (医)杏山会吉川記念病院
 (医)仁陽会仁陽堂外田医院
 (株)サンノー企画印刷
 山形中央信用組合
【南陽市】
 (一社)南陽市東置賜郡医師会
 置賜ツバメ石油(株)
 (株)三和
 (株)三幸ソーイング
 (株)武蔵屋
 (医)公德会佐藤病院
【高島町】
 (株)エイコウ
 (株)高島ワイナリー
 羽山総合建設(株)
【米沢市】
 (一社)米沢市医師会
 (株)イービーエム
 (宗)普門院
 米沢合同運送(株)
【川西町】
 山形おきたま農業協同組合
【小国町】
 安部工業(株)
 (株)高橋工務店
 大和建設運輸(株)
 山和建設(株)
【宮城県仙台市】
 損害保険料率算出機構北日本本部

【山形県警察の各所属 職員一同様】

総務課	地域課	鑑識課	機動隊	新庄警察署
広報相談課	通信指令課	科学捜査研究所	警察学校	庄内警察署
留置管理課	人身安全少年課	交通企画課	山形県警察学校初任科生	酒田警察署
会計課	生活環境課	交通指導課	山形県情報通信部	鶴岡警察署
警務課	サイバー犯罪対策課	交通規制課	山形警察署	長井警察署
人材育成課	刑事企画課	運転免許課	上山警察署	小国警察署
監察課	捜査支援分析課	交通機動隊	天童警察署	南陽警察署
厚生課	捜査第一課	高速道路交通警察隊	寒河江警察署	米沢警察署
情報管理課	捜査第二課	警備第一課	村山警察署	
生活安全企画課	組織犯罪対策課	警備第二課	尾花沢警察署	



被害者等支援に特化した市町村条例の制定状況

昨年度、当センターの重点推進事項の1つとして県警等と連携して取り組んでいた、市町村条例は本年4月現在32市町村で制定(制定率約91.4%)されました。残り3町も今年度中には制定予定となっています。

善意のご寄付をいただいた皆様の紹介



「女声合唱団ふうが」様

山形市の女声合唱団「ふうが」(柏倉恵子団長)様から4月16日ご寄付がありました。3月30日に山形市内で結成30周年記念コンサートを開催し、会場で善意を募ったもので、山寺コミセンにおいて柏倉団長と指揮者の川邊さえ子様から齋藤専務理事に交付されました。支援活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。



「天童市更生保護女性会」様

天童市更生保護女性会(森睦会長)様から4月22日ご寄付がありました。同会の総会席上で、森会長から当センターの齋藤専務理事に交付されました。同会からは、毎年ご寄付をいただいております。支援活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。

賛助会員への加入や各種ご支援・ご協力をお願いします

賛助会員会費 ◎個人会員……1口 **2,000円** ◎法人・団体会員……1口 **10,000円**
(口数に制限はありません) (口数に制限はありません)

ご入会の方法/郵便振り込みか銀行口座へのご入金をご利用ください。
 詳しくは当センター事務局(電話023-642-3571)にお問い合わせください。

賛助会費や寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。

やまがた被害者支援センターだより 第39号 令和7年8月発行

山形県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

発行・編集 公益社団法人 **やまがた被害者支援センター**

〒990-0031 山形市十日町1丁目6-6県保健福祉センター内
TEL 023-642-3571 FAX 023-676-5630 (土・日・祝日・年末年始は休みとなります。)
 ホームページアドレス <https://www.yvsc.jp>